

いて職員それぞれが考えることにしています。過去の50年間は、昭和35年池田内閣の「国民所得倍増計画」に始まり「高度経済成長」に象徴されるわかり易い時代でしたが、これからの50年は、ワンフレーズではとても表せないわかりにくい時代になると思われます。研究には、これまで以上に、先見性や洞察力が必要となっています。

一方、今ほど研究に対して即効的な成果が求められる時代もありません。経済・社会の変化は、どんどんスピードアップしています。それとともに日本人は短気になっています。国民の要請に迅速かつ的確に応えていかなければ、存在すら否定されかねません。

「長期的視点に立った研究」と「喫緊の課題に応える研究」とは、相反するようにも思えます。しかし、社会の要請である喫緊の課題に応えていくという使命を果たすことと併せ、現象の科学的解明や新たな視座からの研究の創生、革新的技術の開発、など長期的視点に立って新たな時代を創造するような研究も目指していかなければならないと考えています。これらを両立することによって、国民への還元を最大にするとともに、世界をリードする研究所になれるものと確信しています。きわめて難しいことです。皆様のご指導よろしくお願いいたします。

◇PARI◇=====

2. 第9回国際沿岸防災ワークショップの開催報告

=====◇PARI◇

海や沿岸域に関係する関係者が集まり、「豊かな海との共生を考えた地震・津波防災に向けて」をテーマに、関連する研究成果を発表しました。パネル討議の概要等について掲載しています。

<http://www.pari.go.jp/event/seminar/2011/20120224ws.html>

◇PARI◇=====

3. 報告：国際会議・国際出張報告

=====◇PARI◇

1) HYDRALAB IV Meetingに出席しました。

<http://www.pari.go.jp/files/4200/1399305639.pdf>

2) 「Pacific Ports Clean Air Collaborative (PPCAC)」に出席しました。

<http://www.pari.go.jp/files/4072/287852615.pdf>

3) 「PIANC EnviCom 会議」に出席しました。また、南デンマーク大学とMoU協定を締結しました。

<http://www.pari.go.jp/files/4065/1397082750.pdf>

◇PARI◇=====

4. 港湾空港技術研究所報告・資料の発行

=====◇PARI◇

港湾空港技術研究所の研究成果として、「港湾空港技術研究所報告」、
「港湾空港技術研究所資料」を公表しています。今回は本年3月発行分
を紹介します。

○港湾空港技術研究所報告・資料の検索ページ

<http://www.pari.go.jp/cgi-bin/search-ja/index.cgi>

○空港用地内における液状化被害予測のための物理探査事例

<http://www.pari.go.jp/cgi-bin/search-ja/detail.cgi?id=20120315205635>

○全国港湾海洋波浪観測年報 (NOWPHAS 2010)

<http://www.pari.go.jp/cgi-bin/search-ja/detail.cgi?id=20120315210325>

○GPS波浪計で捉えた東北～四国地方太平洋沿岸の沖合波浪特性

<http://www.pari.go.jp/cgi-bin/search-ja/detail.cgi?id=20120315210643>

○風杯式風速計の応答特性と線形補償

<http://www.pari.go.jp/cgi-bin/search-ja/detail.cgi?id=20120315210955>

○釜石湾口防波堤の津波による被災メカニズムの検討 ―水理特性を中心
とした第一報―

<http://www.pari.go.jp/cgi-bin/search-ja/detail.cgi?id=20120315211424>

◇PARI◇=====

5. 港湾空港技術研究所ホームページ 掲載情報

=====◇PARI◇

- 1) 平成24年度 科学技術分野の文部科学大臣表彰若手科学者賞を地盤研究領域の佐々真志チームリーダーが受賞しました。
<http://www.pari.go.jp/research/awards/2012/20120417.html>
- 2) 長期的な海岸線の変動の45%がエルニーニョなどの気候変動によって説明できることを明らかにしました。
<http://www.pari.go.jp/press/2012/>
- 3) 名古屋工業大学と港湾空港技術研究所が「連携に関する基本協定書」を締結しました。
<http://www.pari.go.jp/research/cooperation/japan/2011/20120329.html>
- 4) 技術情報誌「PARI Vol.7 2012年4月号 50周年記念号」を発行しました。(ファイルのサイズが重いので、ダウンロードの際にはご留意願います。)
<http://www.pari.go.jp/files/items/832/File/PARIVOL.7.pdf>

◇PARI◇=====

6. 事務局からのお知らせ

=====◇PARI◇

- ◆本メールは、今まで港空研が主催した講演会や一般公開に参加し、メールアドレスを登録された方にお送りしております。
- ◆メールマガジン「PARI Club 通信」の配信登録、配信停止、およびメールマガジンに関するご意見、ご要望は、本メールに返信するか、以下のアドレスに送付ください。
「pariclub@ipc.pari.go.jp」
- ◆配信停止の場合は、お手数ですが、件名を「メール停止希望」として送付願います。

注) 当研究所のホームページについては、随時更新作業を実施しています。そのため、一部のリンク先が変更になる場合があります。